



2025 年 5 月 13 日

各 位

会社名： フ ク ビ 化 学 工 業 株 式 会 社
代表者名： 代 表 取 締 役 社 長 森 克 則
(コード番号：7871 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先： 広 報 ・ I R 推 進 室 長 柏 直 樹
(TEL：0776-38-8415)

第 7 次中期経営計画の進捗状況に関するお知らせ

当社グループでは、2023 年度から 5 ヶ年の第 7 次中期経営計画「技術を押出し、未来へ ワクワク」がスタートしております。このたび 2024 年度の進捗状況がまとまりましたので、お知らせいたします。
詳細については、別紙をご参照ください。

以上

第7次中期経営計画 2024年度進捗に関するお知らせ

当社グループでは2023年度から5か年の第7次中期経営計画『技術を押出し、未来へ ワクワク』がスタートしております。このたび2024年度の進捗状況がまとまりましたので、お知らせいたします。

1. 第7次中期経営計画について

中長期ビジョンのあるべき姿「新たな技術開発と市場創造に絶え間なく挑戦し、快適な社会の実現に貢献する」「一人一人の成長と企業の成長が一体となることで、喜びを実感できるフクビグループを目指す」に対し、現状とのギャップを埋めるための戦略と位置付け企業理念に立脚した事業活動を具現化することによって、企業としての存在価値を高めるとともに、VUCAの時代において安定的な経営を目指すため、3つの基本戦略を掲げています。

① 循環型ビジネス拡大

- ・プラスチックリサイクルへ事業領域を拡大し、循環型社会に貢献する。
- ・環境配慮型商品のブランド展開とフクビの5R(Reduce、Reuse、Recycle、Renewable、Revalue)実践によりグループの存在感を高める。

② 強靱な収益基盤構築

- ・当社の強みである、材料配合・成形加工技術に関するバリューポジションを更に拡大する。
- ・社会のニーズに沿った商品開発や採算性を意識した事業PFの再構築、生産性向上による更なる原価低減を通じて付加価値をさらに高める。

③ 成長を後押しする組織づくり

- ・人的資本への積極的取り組みにより、従業員エンゲージメントを高め、従業員の力を最大限発揮できる清新な組織への改革を加速させる。
 - ・戦略を確実に実行するためのガバナンス体制を強化する。
- 当社グループは、上記諸施策を推進することで100年企業へ向けた強固な基盤づくりを行い、更には、地域の皆様や社会に貢献する経営を継続することで、常にステークホルダーに信頼され、選ばれ続ける企業を目指します。

2. 数値目標の進捗

中期経営計画の2年目は、売上39,973百万円、営業利益は1,550百万円と前期比で増収減益。

	(単位：百万円)	2023年度実績	2024年度実績	2027年度計画	長期目標 (2030年展望)
収益性	売上高	39,735	39,973	45,000	50,000
	営業利益	1,753	1,550	2,800	3,500
	経常利益	2,117	1,882	3,120	-
	当期純利益	1,704	1,466	2,160	-
資本効率	ROIC (投下資本利益率)	3.3%	3.8%	5.9%	-
	ROE (自己資本利益率)	4.9%	4.0%	6.0%	-
財務健全性	D/Eレシオ	0.034	0.030	0.4倍以下	-
	自己資本比率	67.2%	68.7%	65%	-

3. 基本戦略の取り組み状況

3つの基本戦略を念頭に置いた活動を展開

	基本戦略	成 果
①循環型 ビジネス拡大	プラスチックリサイクルへ事業領域を拡大し、循環型社会に貢献する環境配慮型商品のブランド展開とフクビの5 R※実践によりグループの存在感を高める ※Reduce、Reuse、Recycle、Renewable、Revalue	循環型社会への貢献 ✓ 日本政策投資銀行による「DBJ環境格付」を取得。 ✓ 福井県が発行する「グリーンボンド」への投資 ✓ 福井県坂井市との「ゼロカーボンシティの実現に向けた包括連携協定」の締結 ✓ Scope3 算定結果の開示 ✓ 環境配慮型スマートベンチの共同開発（フクビ化学、長瀬産業、キャプテックス共同発表） ✓ バスパネルBTjの「エコリーフ」環境ラベル取得 ✓ フリーフロアE-CPの「エコリーフ」環境ラベル取得 ✓ プラスッド ルーバーJF3050の「エコリーフ」環境ラベル取得 SDG s への取組 ✓ CO2削減2年目の目標達成 ✓ 産業廃棄物削減2年目の目標達成
②強靱な 収益基盤構築	当社の強みである、材料配合・成形加工技術に関するリューポジションを更に拡大する社会のニーズに沿った商品開発や採算性を意識した事業PFの再構築、生産性向上による更なる原価低減を通じて付加価値を更に高める	事業ポートフォリオの再構築 ✓ 成長構想を策定。8つの成長率引分野を明確化し、定量・定性目標を設定 ✓ リフォジュール100%子会社化による工事業の再編 ✓ 事業ポートフォリオの基本方針を策定 収益性改善 ✓ 調達価格変動に伴うブランド品価格設定 ✓ 高付加価値製品の新商品販売と販売強化 ✓ 資本効率・キャッシュフローの観点より在庫と見積単価の適正化 原価低減 ✓ 生産性改善に向けた自動化・省人化設備導入 ✓ 押出成形標準化モデルラインの展開
③成長を後押し する組織づくり	- 人的資本への積極的取り組みにより、従業員エンゲージメントを高め、社員の力が最大限発揮できる清新な組織への改革を加速させる - 戦略を確実に実行するためのガバナンス体制を強化する	人的資本経営 ✓ 従業員持株会RSの導入（80%超） ✓ 新たな人事評価制度の運用開始 ✓ 人材データベース化を完了し、タレントマネジメントへ展開 ✓ チャレンジジョブ制度の導入、初年度募集 ✓ 健康経営宣言を行い「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に認定 ✓ アルムナイネットワークを導入 ガバナンスの強化 ✓ ガバナンス強化に向けた経営執行体制(CxO体制のスタートと毎週CxO連絡会開催) ✓ 決裁権限の見直し（権限委譲） DX推進 ✓ 管理会計システム導入準備 来期展開予定 ✓ 子会社へのERP導入（FUKUVI USA、フクビ岡山）



2023-2027年度

第7次中期経営計画 2024年度進捗報告

おしだ
技術を押出し、未来へ ワクワク

これまで培った樹脂加工技術を軸に事業領域を広げ、
サステナブルな社会を創造します。

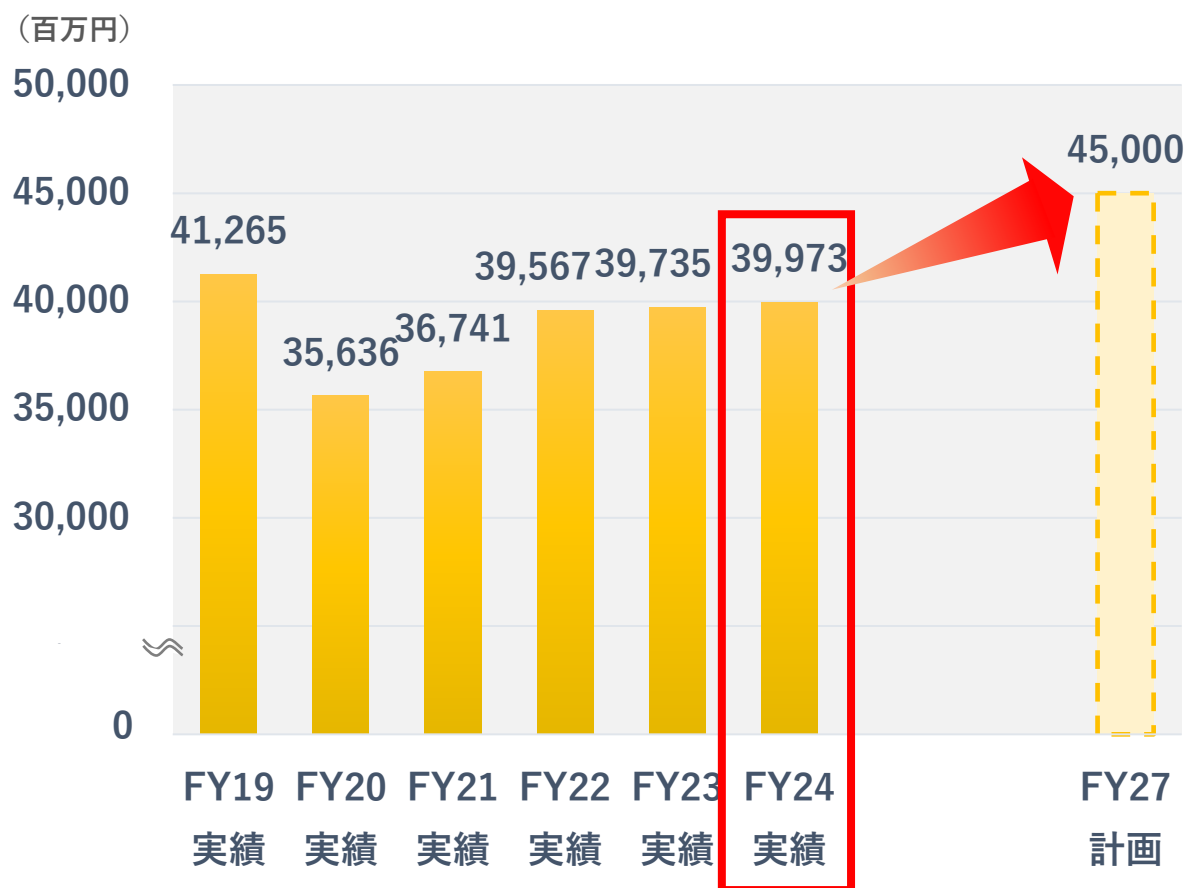
フクビ化学工業株式会社

2025年5月

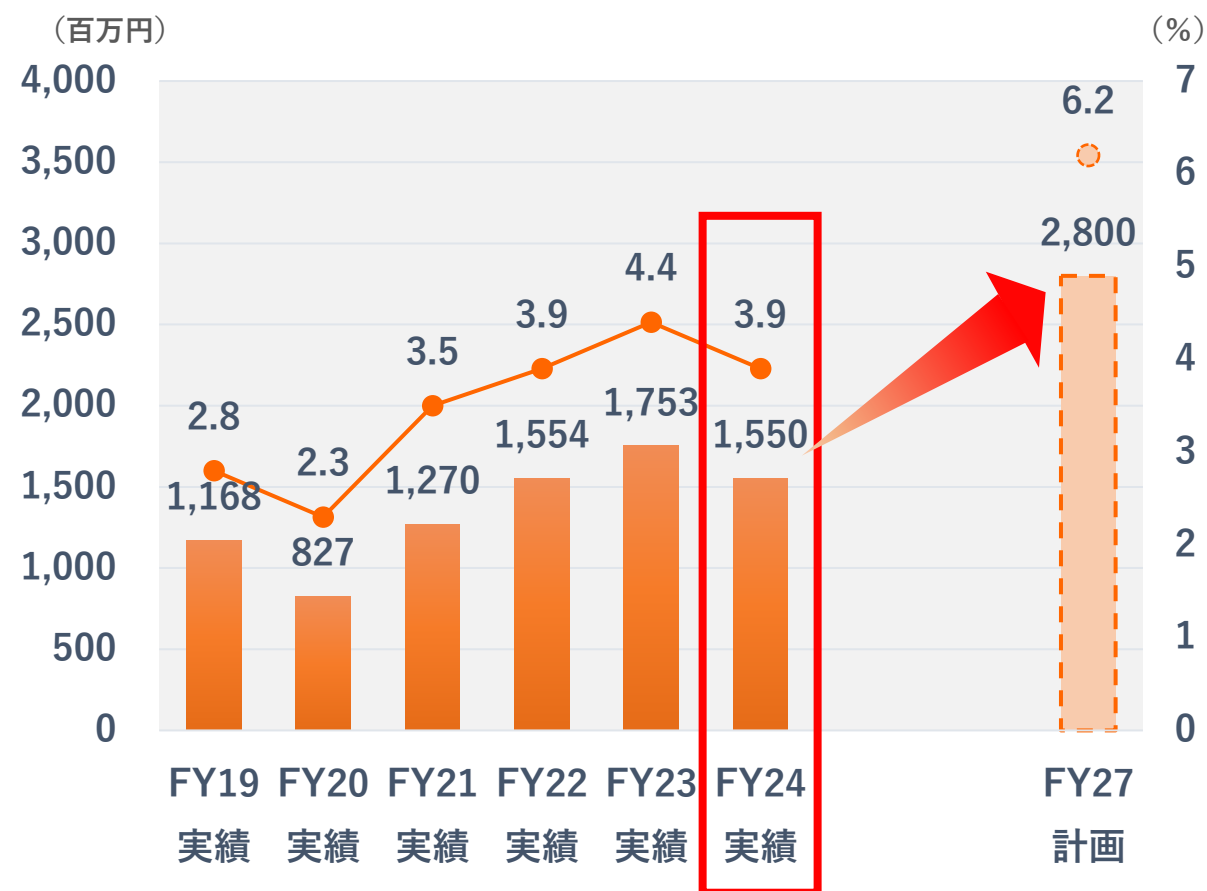
売上高・営業利益の推移（連結）

売上、営業利益とも中計2年目の目標に届かず（売上目標比▲2.6億円、営業利益同▲6.9億円）。前年比では増収も棚卸資産の合理的な見積もりを更に進めたこともあり、営業減益となった（棚卸資産評価減＝2.25億円）。

売上高の推移



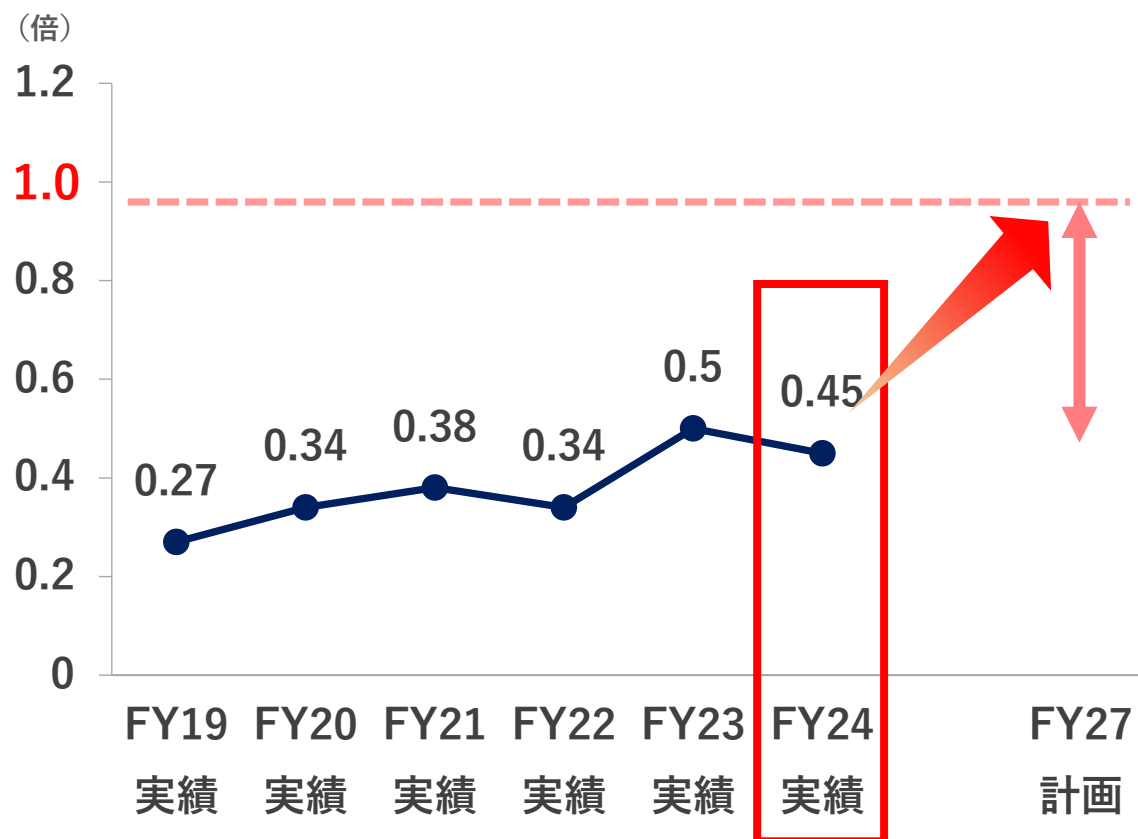
営業利益・営業利益率の推移



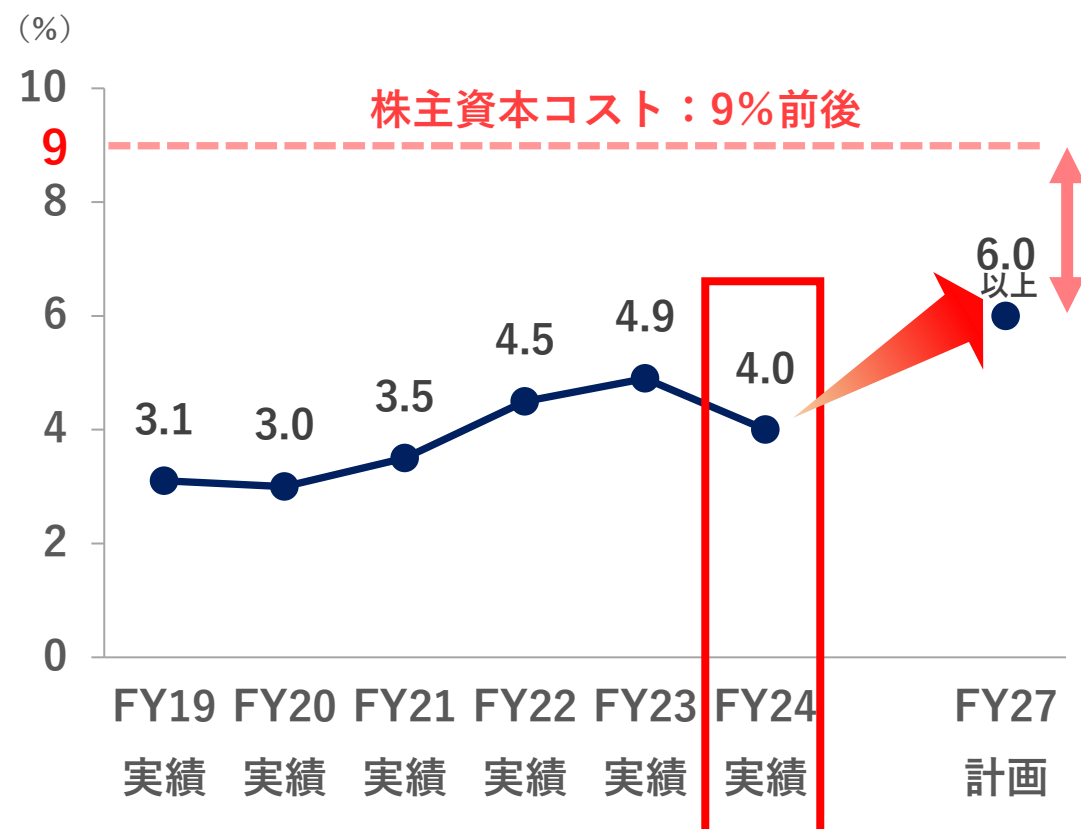
PBR・ROEの推移（連結）

PBRは1.0倍割れ、ROEは株主資本コストを下回る水準で推移。ROE低下要因として、前述の棚卸資産評価減が影響した（棚卸資産の合理的な見積もりに伴う評価減2.25億円、一部製品の補償関連費用0.8億円）。

PBRの推移



ROEの推移



成長構想の中で事業ポートフォリオを「当期純利益率の向上」と「財務レバレッジの活用」を重点施策として、改善図る。

経営指標の推移（連結）

FY24は前年比増収を確保。体質強化と財務健全化の諸施策を実行したことによりROEはFY23比0.9P低下したが、ROICは逆に0.5P改善した。FY27計画値達成に向けて、戦略の実行を進める。

（単位：百万円、％）

		FY19実績	FY20実績	FY21実績	FY22実績	FY23実績	FY24実績	FY27計画
収益性	売上高	41,265	35,636	36,741	39,567	39,735	39,973	45,000
	営業利益	1,168	827	1,270	1,554	1,764	1,550	2,800
	売上高営業利益率	2.8%	2.3%	3.5%	3.9%	4.4%	3.9%	6.2%
	EBITDA	2,576	2,218	2,561	2,843	3,006	2,894	-
	売上高EBITDA率	6.2%	6.2%	7.0%	7.2%	7.6%	7.2%	-
	親会社株主に帰属する当期純利益	946	915	1,136	1,482	1,704	1,466	2,160
	EPS	46.1	45.0	55.7	73	85.6	73.8	-
資本効率	投下資本利益率（ROIC）	3.4%	2.3%	3.5%	3.7%	3.3%	3.8%	5.9%
	自己資本利益率（ROE）	3.1%	3.0%	3.5%	4.5%	4.9%	4.0%	6.0%
財務健全性	D/Eレシオ	0.034	0.030	0.028	0.028	0.034	0.030	0.4倍以下
	自己資本比率	63.9%	66.7%	66.0%	66.0%	67.2%	68.7%	65.0%

重点事業領域拡大に向けた主な取組み

4つの重点事業領域を軸に、継続して関連ブランドを積極展開するなど計画達成のためのアクションプランを実行中。

重点事業領域・重点製品候補				展開ブランド等	評価 (2ヶ年)	FY24の主な取組み
新たな住まい	環境配慮型建材	断熱事業	リフォーム			➢ Fukuvalueの拡大：新たな環境配慮型商品の1件認定 ➢ 環境価値提案：CLTと樹脂支持脚による4社共同新商品開発「モクユカ」 ➢ 木資源の地域の循環モデル構築（福井県鯖江市との取り組み）
オフィス&ファクトリー			省施工・高耐久			
			ZEB化事業（※1）	 		
インフラ	インフラ専用 補修/改修材	炭素繊維強化プラスチック			➢ 炭素繊維強化プラスチック：継続して市場開拓、差別化技術の開発を深化 ➢ まちづくり事業：コラボレーションの推進、屋外家具ブランド「Fandaline（ファンダライン）」に3アイテム追加	
	まちづくり事業					
モビリティ	コーティングAG・AR（※2）	HARZLAS	光ガイディングバー		➢ AG/AR：提案活動を継続実施。非車載の売上計画達成。 ➢ 光ガイディングバー：モデルラインの拡大、マーケティングの強化、増産体制の構築 ➢ 生産性向上への各施策実行	
	ライトガイド（導光棒）					
	自動車向け部材					

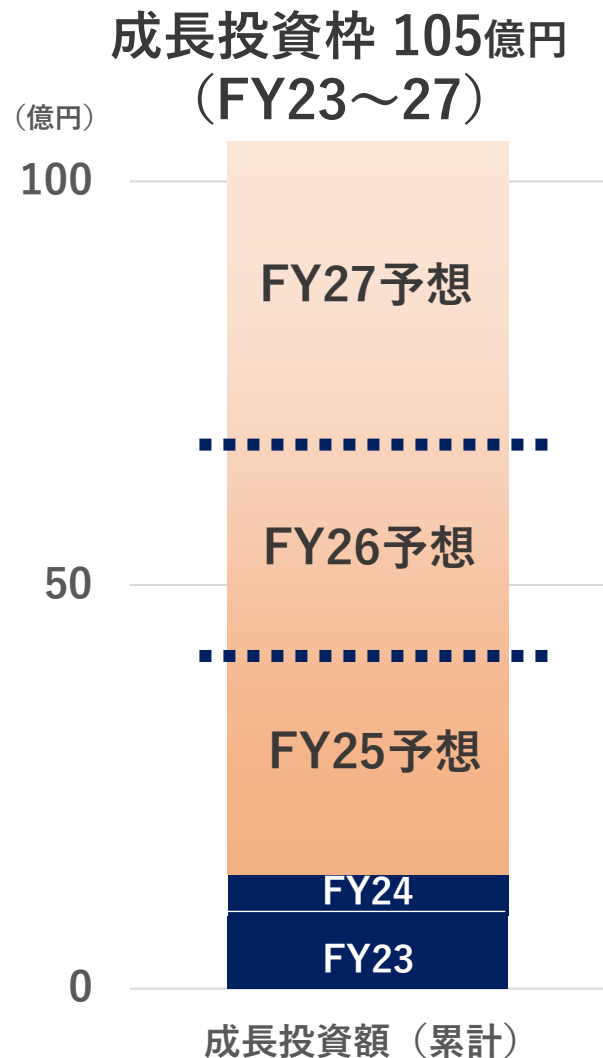
（※1）ZEB：Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称。

（※2）AG：Anti-Glare（アンチグレア）の略。散乱反射。

AR：Anti-Reflection（アンチリフレクション）の略。低反射。

成長投資の実行状況

成長投資の着実な実行に向けて、FY24にて「成長構想」を策定。当該構想を中核に据え、新工場への投資を包含するグループ全体の生産アロケーションを実行し成長につなげていく。第1期工事は2027年度稼働・竣工完了を目指す。



新工場への投資＝成長構想実現のための生産拠点への投資



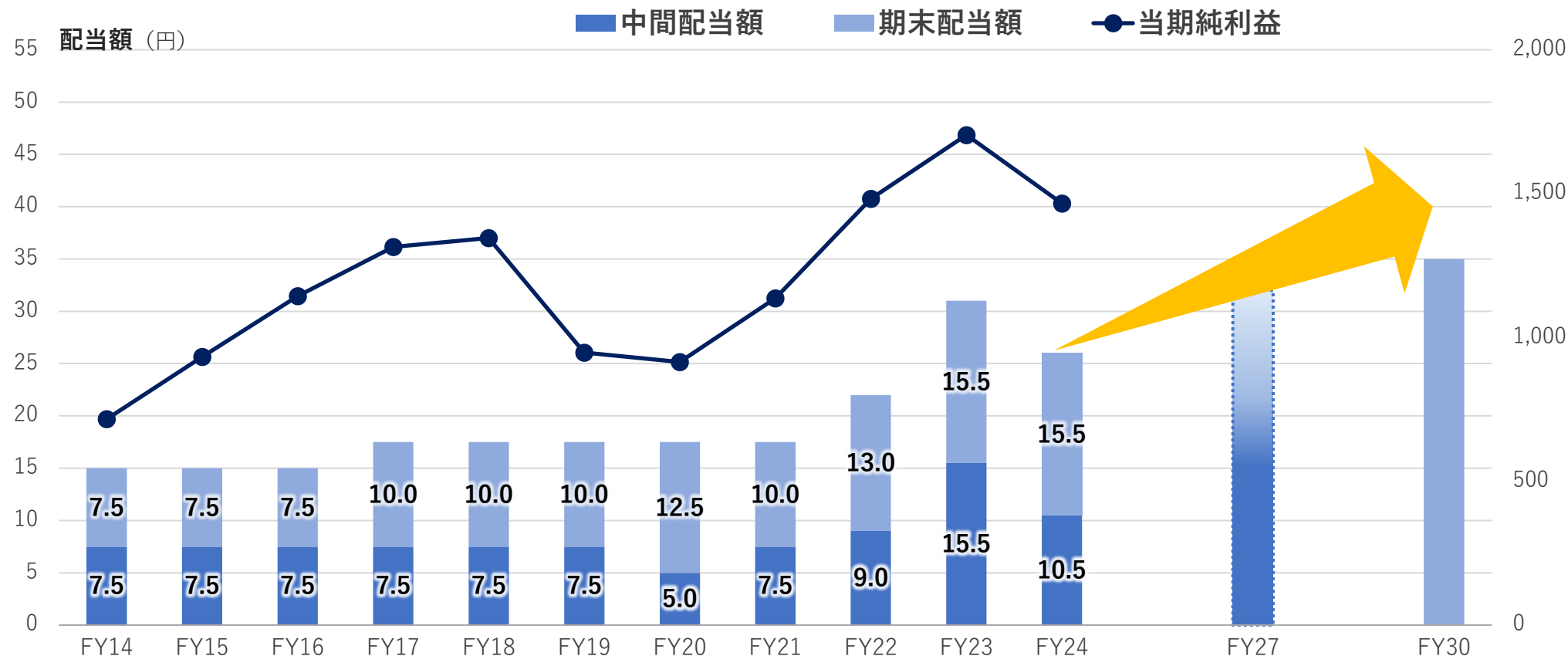
第1期工事
断熱に関する生産拠点拡大
稼働・竣工：2027年度

上記の部分で
投資額**45億円**を計画

新工場への投資を考える上で核となる事業戦略を「成長構想」として位置付け FY24下期に集中的議論を展開。4つの重点事業領域に基づく8つの成長牽引分野を設定し、各分野のアクションプランを実行していくことで、フクビグループの更なる成長、企業価値向上を目指す。

株主還元方針

2024年度は通期26円の配当を実施。配当性向30%以上を目安に、累進配当の導入と機動的な自己株式取得による総還元性向の向上により、株主還元の充実を図る。



配当基本方針 FY24/3月期決算短信

当社は安定的な配当を継続することを基本とし、将来に向けた成長投資に利益を配分しつつ、配当性向30%以上を目安に、累進配当※の導入と機動的な自己株式取得による総還元性向の向上により、株主還元の充実を図ります。

なお、内部留保につきましても、重点事業領域への成長投資および事業基盤の強化のための投資資金に充当してまいります。

※累進配当：配当額の維持若しくは増配を原則とする配当政策

配当性向(%)	43.2	33.1	27.0	27.4	26.8	37.8	39.0	31.5	30.0	36.2	35.2
総還元性向(%)	43.2	33.1	27.0	27.4	26.8	58.9	39.0	31.5	53.6	36.2	52.8

自己株199百万円
(35万株) 取得

自己株351百万円
(62.7万株) 取得

自己株258百万円
(35万株) 取得

経営基盤強化への取り組み

主要取組内容（2024年度）

サステナビリティ

- Scope 3（弊社単体/2023年度分）の算定及び適時開示。
- 日本政策投資銀行による「DBJ環境格付」を取得。
- 福井県坂井市と「ゼロカーボンシティの実現に向けた包括連結協定」の締結。

生産性を上げる DX

- データ基盤強化：フクビ本体に続き子会社へERP導入（FUKUVI USA、フクビ岡山）
- データドリブン環境の構築：BIツール、CRM活用推進
- ITリテラシー向上のための研修（eラーニング）を実施

人的資本経営

- タレントマネジメント推進：人財データベースの可視化項目の確定（35項目×4要素）
- 人材獲得：「アルムナイ/タレントプール採用」の導入。
- 制度充実：従業員持株会RSの導入。

事業ポートフォリオ

- 事業ポートフォリオの基本方針を策定。実務指針への落とし込みは課題。
- 成長構想を策定。8つの成長牽引分野を明確化し、定量・定性目標を設定。
- M&A出資検討会を立上げ。案件の深掘りが定着、手持ち案件増加に寄与。

非財務KPI

CO2排出量、産業廃棄物は達成見込み。技術革新を進める中で見直しを検討。
ダイバーシティ＆インクルージョンは増勢で推移するものの課題。

非財務KPI

CO2排出量

(2019年度比、scope1&2)

FY22

24.5%削減※

FY23

28.3%削減

FY24

29.7%削減

FY30

目標

30%削減

産業廃棄物

(2019年度比)

FY22

34.0%削減

FY23

35.3%削減

FY24

53.9%削減
(見込値)

FY30

目標

50%削減

ダイバーシティ＆ インクルージョン

FY22

2.9%

FY23

4.2%

FY24

(管理職に占める女性の割合)

6.8%

(管理職に占める女性の割合)

FY30

目標

20%

(管理職に占める女性の割合)

(※) 集計項目の一部見直しにより26%から24.5%に修正。今回よりCO2排出量削減量、産業廃棄物削減量についても小数点表記。

技術をおしだし、未来へワクワク

注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。